



「この枝がちょうどいい感じ」「そうだね、いいの見つけたね」

「たからのもり」は園内で一番自然に近い場所。地面には落ち葉や枯れ枝を敷くようになって、より森らしくなってきました。テーブルやウッドデッキには、何かしらこっそりと遊びの後が残されていて、きつと色づいた落ち葉を何かに見立て、イメージを豊かに広げて遊んでいただろうことがうかがえます。

ある日、小さな枝を探していた子供たち。持って行った先では、枝を箸のように使ってピオトープに浮かんでいた枯れ葉を丁寧につまみ出していました。心なしか、メダカも喜んでるように見えました。

風の子便り



KAZENOKO DAYORI

滋賀大学教育学部附属幼稚園



ステキがあふれる子供たちの遊び

3歳児の園庭では、一人一人の子供たちが少しずつ友達との関係性を広げながらしたい遊びを十分に楽しんでいます。「1.2の3」でブランコをこぎ出して笑顔を交わす姿に成長を感じます。

誰もが、自らがもつ力を十分に発揮して自分たちの遊びを楽しんでいるステキな毎日です。

4歳児テラスではステキな衣装をまとった子供たちがステージショーをしています。披露するいろいろなダンスは運動会で覚えたのだとか。

衣装は様々な素材で丁寧に作られた個性豊かなオーダーメイドで、頭につけているバンドもうまくサイズを合わせて作られています。

5歳児テラスではペットボトルのキャップと竹串で作ったコマで一日中遊ぶ子供たちがいます。キャップをいくつつけるといいのか…「重さ」が関係しているのか…芯の長さは関係あるのか。回るコマをじっと見つめながら研究が進みます。ステキというか、すごいです。

小学校との連携と交流

生活科で作ったおもちゃで遊んでもらいたい

2年生からお誘いを受け、5歳児が学校に遊びに行きました。風で動くクルマ、ビー玉の迷路、空気砲ほか、たくさんの楽しい遊びにわくわくして取り組む子供たちでした。

さて、担任から「うまくいかなかったことや困ったことを教えてもらいたい」と注文がありましたので、翌日の授業で2年生に伝えました。

(課題解決能力を育む研究授業の発表でした)

次はもっと楽しんでもらおうと考えて、さらに楽しいおもちゃや遊び方を工夫・開発し、またお招きしてくれるそうです。

1年生の体育授業の準備を眺めていると「今日は跳の運動遊びです」と、担当の先生。「幼稚園もこんなやり方で楽しんでいます」と、運動遊びについての談議になります。幼・小での学びの連続性を支えるために大切にしたい教師の連携と子供たちの交流です。





～副園長のおしゃべり～

先日参加した研究会での講演を興味深く拝聴した。「寝たきりで過ごす障がいのある方のことを考えることは、未来の自分たちの暮らしを考えることに他ならない！なぜなら、ここにいるほとんどの方が人生の最終盤を寝たきりで過ごすからだ」老いが進んできた両親にもっとやさしく接しようと思つた。

「私たちが予想もしない、あつと驚くようなことを考えたり、思いがけないことを楽しんで遊ぶことができる子供を育むことが先生方の使命だと思っている！なぜなら、そうでなければ予測不可能と言われてる未来を生き抜くことなんてできっこないからだ」心と頭と体を存分に使って遊び「すごいつ！」と、私たちが驚かせている幼稚園の子供たちのことを思い浮かべながら、彼らならきっとこれからを生き抜く力を身につけ、だれ一人取り残さない未来を創ることができるに違いないと心から思った。

季節のアルバム



2年生からの影響もあり、ビー玉転がしをつくる5歳児。いろいろな転がり方を見ながら、上手くゴールまで転がるように試行と工夫を続ける。

これはもう研究である。コマの軸がどうだとか、音が鳴るように作るとか、壮大な仮説を立てて日々実験（遊び）にいそむ5歳児

園庭を走るダンボール電車で行きついたところはレストランなのか、お化け屋敷なのか…。すてきな電車に乗ってイメージを広げて遊ぶ。



いや、どうやらパーティーのごちそうやケーキのためにいろいろな材料を探し回っていたらしい。冠をつけているところをみるとお姫様だね。

3歳児だろうと創作意欲は燃え上がり、自分なりのイメージを広げて遊びに使うものを自分で作る。テープの貼り方もうまくなっている。

木登り、ロープ遊び、3歳児とはいえ運動能力は侮れない。友達にしていることに憧れをもち、トライする。高めあう未来はオリンピックか。

大学卒業時の文集で、その人を動物に例えたとに？という欄があり、誰かが勝手に書いたかみんなの総意か、私は「暴れん坊のサイ」であった。あまり納得してはいないが、似合う色の欄には「オレンジ・赤」と書いてあったので、級友にはそう見えていたのだろう。あなたは？家族は？動物に例えたとに？

どうぶつ占いでいろいろと調べてみた方が多くいらっしゃいました。なつかしいですね。

小学校2年生との交流についてはきょうだいがいる方も多いようで、

学校からの発信と合わせて関心がより高まっているとのことでした。ありがとうございます！

